

## 質疑(応答記録)

公告No. : No. G074

公告日 : 令和2年10月26日

工事名(件名) : 雨池ポンプ場耐震補強工事

整理番号	質 疑 事 項		回 答
1	AM-13 チャンバー板厚はSUS2mmでよろしかったでしょうか。		国交省仕様の場合、幅2201mm以上は1mmなので、2mmでも問題ありません。
2	AM-13 チャンバー仕上げは左上に参考SUS Bとありますが、抜け落ち2Bでよろしかったでしょうか。		SUS B(材質:SUS板、吊鋼材他:亜鉛メッキ鋼材)の意味です。
3	AM-13 ウエザーカバーL形鋼の数量は連結部箇所にそれぞれで、7か所×2でよろしかったでしょうか。		分割アングル40×40×3のことでしたら、その場合、連結部箇所にそれぞれで、5箇所×2です。
4	AM-13 ウエザーカバー壁開口部A-A断面短管の記載がありませんが、必要と考えてよろしかったでしょうか。		開口部内には短管ダクトは設けません。
5	図面番号 S-34	今回工事の概略工程表はありませんか。建物の耐震改修(解体・補強工事等)の全体の流れを教えて下さい。	契約後に受注者において作成し、提出してください。
6	図面番号 AM-1	今回工事対象建物の概要はSRC造の地上2階、地下1階の延床面積1444m <sup>2</sup> と記載がありますが、各フロアの求積図等がありましたらご提供願います。	竣工当初の求積図を添付します。

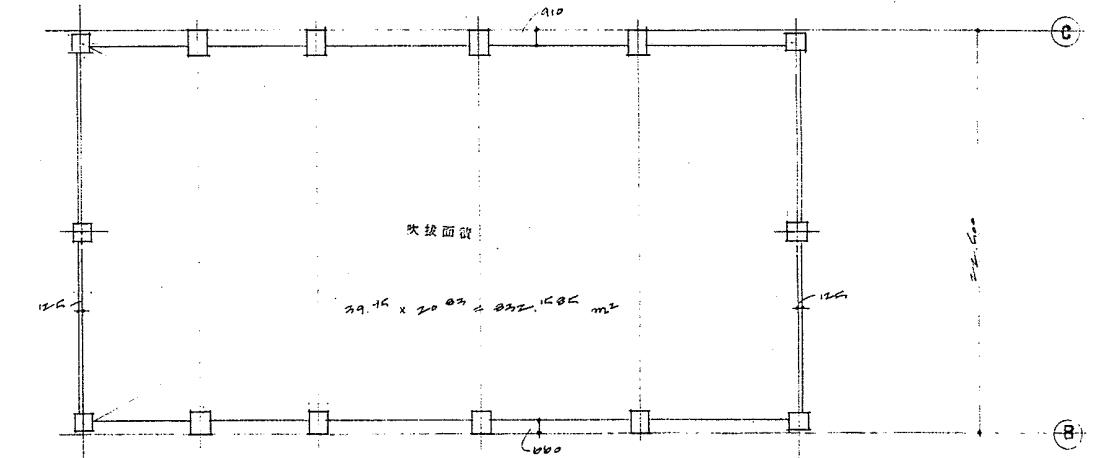
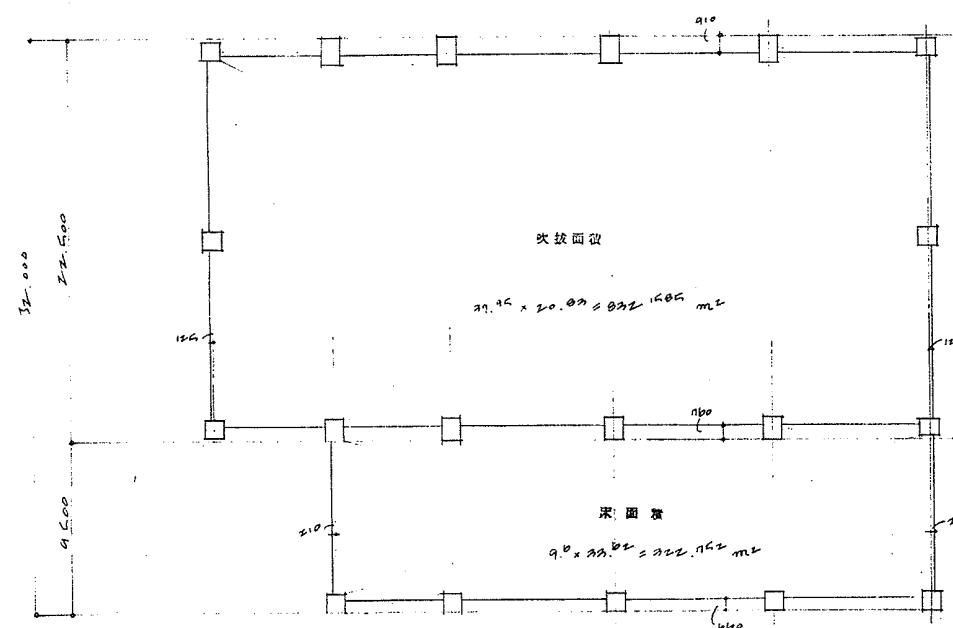
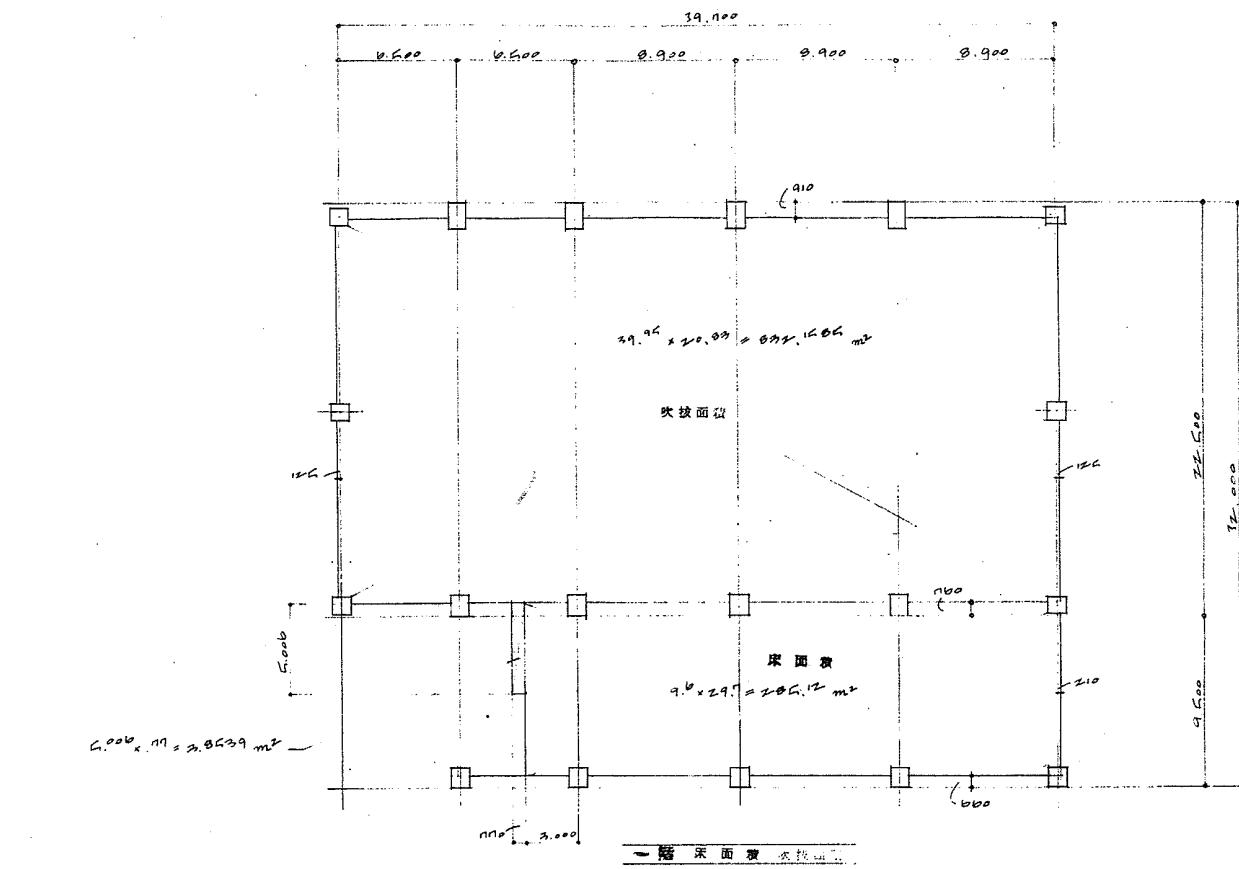
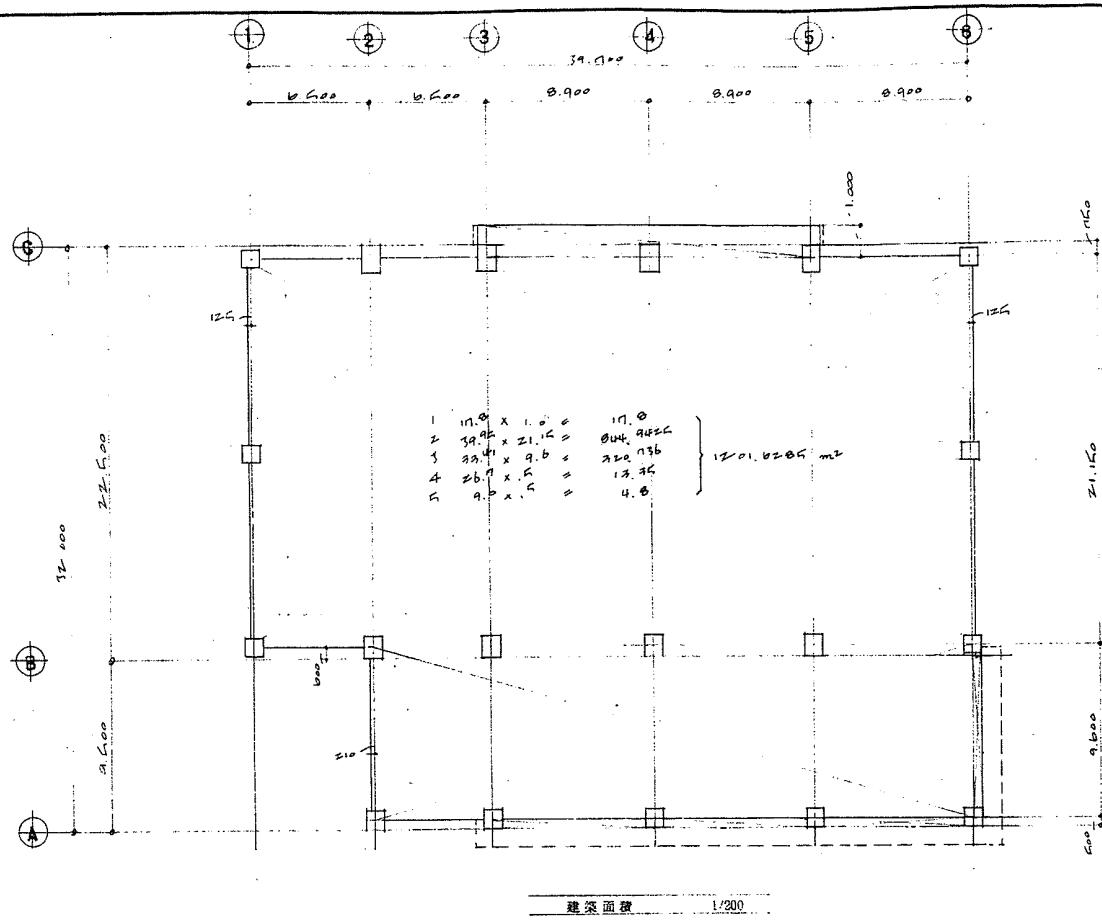
## 質疑(応答記録)

公告No. : No. G074

公告日 : 令和2年10月26日

工事名(件名) : 雨池ポンプ場耐震補強工事

整理番号	質 疑 事 項		回 答
7	図面番号 S-34	EW40Aの「スタッド溶接ですが横向きと上向きはスタッド軸径16mm以下(スタッド協会技術資格による)となっておりますのでD19をD16に変更は可能でしょうか。変更不可の場合はどのように施工したら宜しいでしょうか。	2009年改訂版 既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説より、厳重に施工監理を実施すればD19まで適用範囲との記述に準拠しています。
8	図面番号 S-34	EW40Aのb-b断面配筋図に、下端スタッド溶接と接着系アンカーD19@200ダブルと記載ありますが、スタッド溶接のみと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおり。
9	図面番号 S-34	1階A通り/4-5通り間EW50Cの増打壁施工時に開口閉鎖(EW18)は、同時に施工できるものとし、開口閉鎖天端部の無収縮モルタル圧入はないものと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおり。
10	図面番号 D-61	仮設間仕切壁Bが5mを越えていますが、スタッドの補強等の記載がありません。どのように考えれば宜しいでしょうか。(メーカーによっては、使用する材料ピット等を検討すれば可能なメーカーもありますが)	内部足場で仮間仕切りB種を支持してください。
11	図面番号 S-30, 46	2階A通/2-3通間EW18の開口閉鎖の件ですが、3通側スパイラル筋φ6-径200と記載ありますが、φ6-径100と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおり。



面積表		備註
地盤面積		
建築面積		1301.558
一層 床面積	832.158	1121.132
二層 床面積	405.12 + 3.8639	322.767
合計面積		1443.98
二層 吹抜面積		832.158
三層 吹抜面積		322.767
合計面積		11664.317

事業名					
工事場所					
名 称	水積門面移表				
縮 尺		設計年月	昭和 年 月 日		
工 種		設計者			
事業主体	四日市市	面番号	K-1		